



養父市



養父市は、県下最高峰の氷ノ山をはじめとする山々から流れる清らかな水や、ブランド和牛「但馬牛」の牛ふんから製造される良質な堆肥などの資源を活用した土づくりを中心とした農業が盛んに行われてきました。有機野菜産地であるおおや高原、有機農業の普及を進めるおおや有機農業の学校、多様な生物との共生を図る農法を用いたコウノトリ育むお米などの拡大も進み、近年では有機農業を志す新規就農者や研修生の受入れも進んでいます。

SDGsやみどりの食料システム戦略の目標達成に向けて、環境に配慮した有機農業に対する理解を深め、その重要性を認識した行動を起こすまちづくりを目指し、養父市の豊かな環境と調和のとれた農業を次の時代を生きる子どもたちに繋ぐため、ここに「オーガニックビレッジ宣言」をします。

令和5年6月5日

養父市長

広瀬 栄